



永井隆平和賞発表式典

- 戦後80年、今こそ「平和を」 -

折り鶴とシン・アートで会場を彩ります

市民のみなさんと作成した



戦後80年、今こそ「平和を」－ 永井隆博士の思いを受け継いできた平和賞も第35回を迎えました。全国から応募のあった作品の中から5つの部門で選ばれた優秀作品を発表します。

また、今年は関連事業として、市民の皆様によびかけ折り鶴とシン・アートの花を作っていただきました。「平和を」の都市宣言をした雲南市から、あらためて平和への思いをつないでいきましょう。

令和7年 9月14日【日】

時間

発表式典 13時30分

講演 14時50分

会場

雲南市木次経済文化会館

チェリヴァホール 2階大ホール

雲南市木次町里方55番地 JR木次駅前

講演

平和をつなぐ

ノーベル平和賞授賞式に出席して

日本原水爆被害者団体協議会 代表理事 本間 恵美子 氏

入場
無料

講師

Emiko Homma

本間 恵美子 氏

日本原水爆被害者団体協議会
代表理事

被爆2世では初めてとなる日本
原水爆被害者団体協議会（被団
協）の中国ブロック代表理事
島根県原爆被害者協議会 会長

写真はオスロ大学でのご講演の様子です。

会場を彩る「シン(芯)・アート」とは

キッチンペーパーなどの紙の芯を使って作ります。市内各所でたくさん
の方に作っていただきました。 <制作協力 株式会社CNC >

<主催>雲南市・雲南市教育委員会

<後援>文部科学省・島根県・島根県教育委員会・山陰中央新報社・島根日日新聞社